



エコパートナーシップうじたわら

うじたわらの木くん

～茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまら～

発行日：平成25年3月3日（第48号）

編集・発行：エコパートナーシップうじたわら広報部会

事務局 TEL (88) 6639 FAX (88) 3231

宇治田原の自然・歴史・景観探索

～第10回 いつまでも残しておきたい自然環境体験ハイキング～

昨年秋、悪天候のために開催を延期しておりました高尾地区への『自然環境体験ハイキング』ですが、このたび改めて右記日程により開催させていただくことになりました。この季節の高尾地区は、梅の開花時期と重なり、大変に美しい景観をお楽しみいただけることと思います。是非ともご家族みなさまでご参加ください。（前回、申し込みいただいた方も、改めてお申し込みください。）



【高尾からの風景】

日 時	平成25年3月17日（日） 午前9時30分～午後2時頃の予定 （雨天の場合は、中止）
集合場所	役場駐車場（午前9時20分受付開始） （集合場所までは各自でお集まりください。）
散策場所	（高尾地区） 弘法の井戸、丘陵地帯、林道 歴史ポイント、民家のたたずまい など
準 備	弁当・水筒・タオル・ハイキングに適した服装 （軽装ジャンパーなど）・靴（運動靴などで）
参加費	無 料
応募方法	参加者全員の①氏名②住所③年齢④電話番号 を下記申し込み用紙に明記し郵送、FAX、E メール等にて『エコパートナーシップうじたわ ら』事務局まで申し込み下さい。
締 切	平成25年3月14日（木）
事 務 局	宇治田原町役場 建設・環境課 〒610-0289 宇治田原町荒木西出10 （Tel 0774-88-6639 FAX 0774-88-3231） Eメール： junkan@town.ujitawara.kyoto.jp

自然環境体験ハイキング申し込み用紙

切り取り線

氏名	住所	年齢	電話番号
氏名	住所	年齢	電話番号
氏名	住所	年齢	電話番号

エコキャップの引き取りについて

エコパートナーシップうじたわらでは、今年度2回目となるエコキャップ（ペットボトルの蓋）の引き取りを伏見区の株式会社 山本清掃様にお願いしました。

引き取りの結果について右記のとおりとなりましたので、ご報告いたします。皆様方のご厚意ありがとうございました。

・引き取り個数	64,500個
・引き取られたキャップを 焼却した場合のCO2発生量	473kg
・売却益により発展途上国に 送られるポリオワクチン	75人分

次の方・団体から24年度賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

宇治田原町区長会、宇治田原町森林組合、宇治田原町商工会、宇治田原工業団地管理組合、
株式会社宇治田原製茶場、協栄開発株式会社、JA京都やましろ宇治田原町支店、株式会社馬場義電気
株式会社播磨園製茶、株式会社堀口新聞販売所、米田造園土木株式会社、有限会社富山資源開発、
濱田プレス工藝株式会社

※平成25年2月現在（敬称略・順不同）

メタンハイドレート

国産資源として関心が高まっているメタンハイドレートが、実用化に向け着実に前進しています。

メタンハイドレートとは、「燃える氷」とも言われ、天然ガスの主成分であるメタンが、高圧・低温の海底下や凍土下でシャーベット状に固まったものです。

メタンハイドレートの採掘や商業利用は夢の領域でしたが、ここへきてメタンハイドレートを見直す気運と期待が急速に高まっています。経済環境の変化、豊富な資源量、技術の進歩の3点が開発を後押ししています。

日本近海に資源が豊富にあるだろうとの予測も、夢の実現度を高めました。2007年に経済産業省が本格調査したところ、日本の天然ガス消費量の14年分（東京ガスの販売量の約40年分）にあたる約1.1兆立方メートルの埋蔵量が確認されています。

ここへきて技術面でも大きな進歩をしました。昨年カナダで行われた実証実験では、従来の石油・天然ガス採掘技術の応用である「減圧法」による採取に成功。3月上旬にはロシアのバイカル湖で建設会社や大学が、ロシアの研究機関と共同で、湖底（水深400メートル）の表層から連続回収する実験に成功するなど、実用化へ向けて着々と開発が進んでいます。

国は2018年をメドにメタンハイドレートの実用化技術を確立し、2019年からは商業生産を開始する方針を打ち出しています。

メタンは二酸化炭素の約21倍の排出係数が示すように、温暖化を促進する危険な要素も持ち合わせています。このメタンを使いこなせる技術があれば、まさに一石二鳥の取り組みと言えるのでは・・・。



エコクッキング教室を開催しました



エコパートナーシップうじたわらでは、2月24日（日）に維孝館中学校調理室にてエコクッキング教室を開催しました。

今回は“食材の地産地消”をテーマに宇治田原産の野菜を使ったメニューや“無駄なく使いきる”メニューを参加者全員で調理した後、最後は恒例の食事会となりました。

エコパートナーシップうじたわらでは今後も年2回を目標にエコクッキング教室を開催していきたいと考えております。

次回は“夏野菜、スイカの活用法”をテーマに7月頃の開催を予定しています。

☆エコパートナーシップうじたわら入会のご案内☆

- ◆会員の区分
 - ・個人会員＝町内にお住まいか、町内の事業所にお勤めで環境に関心のある人
 - ・団体会員＝町内で活動する団体及び法人
 - ・賛助会員＝本会の趣旨に賛同し、活動を支援する個人・団体及び法人
- ◆会費
 - ・個人会員・団体会員については、無料です。
 - ・賛助会員については、活動支援金として年額1口5,000円の会費を募ります。
- ◆入会の方法
 - ・入会申込書に必要事項を記入し、事務局に申し込んでください。
- ◆部会
 - ・広報部会・・・会報誌の発行、活動報告書の作成、イベント等の啓発
 - ・自然・生活環境部会・・・河川や動植物の学習会、自然環境体験ハイキング開催
 - ・循環型社会・地球温暖化防止部会・・・生ごみ処理機の普及啓発、環境家計簿の普及等

応募先・お問い合わせ先：エコパートナーシップうじたわら事務局（宇治田原町役場 建設・環境課内）
 〒610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出10
 TEL 0774-88-6639 FAX 0774-88-3231
 Eメール：junkan@town.ujitawara.kyoto.jp

茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原

